

総合型選抜説明会 社会環境工学科



社会環境コース / 環境情報コース

昨年度実績（現1年生）：募集人数6名 → 合格者**7名**

担当：金澤 健（かなざわ たける）

オープンキャンパス 2026/06/21

自然と人をつなぐインターフェース → インフラに関わる分野

豪雨災害・土砂災害

Infrastructure

下に + 構造 (しくみ)

まちの計画

ダムづくり
上・下水道

道路整備

橋を架ける

港湾整備

地震・液状化

河川整備

洪水対策



アドミッション・ポリシーとは

アドミッション・ポリシー

入ること

方針・決まりごと

- 「こんな学生に来てほしい」という学科の思いや考え方
 - ➡ このポリシーに基づいて入試が考えられている。
 - ➡ 学びに必要な「素養」が反映されている。

〔5〕リンク先 QR コード一覧

社会環境工学科
アドミッション・ポリシー



総合型選抜
特設 WEB サイト



社会環境工学科
WEB サイト



Diploma, Curriculum and Admission Policy of Faculty of Engineering

3つのポリシー(工学部)

ここを見る

学位授与方針
(ディプロマ・ポリシー)

教育課程編成方針
(カリキュラム・ポリシー)

入学者受入方針
(アドミッション・ポリシー)

アドミッション・ポリシーを分かりやすく(1)

【両コース共通】

- 大学での教育に必要な数学，理科，英語その他の十分な基礎学力を備えている人。
➡ 苦手科目があっても粘り強く学習を続けることが大学でもできそう。
- 常に向上心を持ち、コミュニケーション能力や協調性及びリーダーシップを養う努力をする人。
➡ チームで何かを作りあげることが好きで（または興味があつて），それをまちづくりに活かせるような仕事がしたい。
- 自然現象や社会システムに関心を持ち、環境の保全・創造や、環境と調和した社会の構築に取り組む意欲を有する人。
➡ インフラや地域環境の整備を通じて，地元や北海道をもっとよくしたい。

【社会環境コース】

- 市民の生活を支える社会・都市基盤の整備や維持管理に興味を持ち、これらの分野で社会貢献を目指す人。

➡ 災害に強いインフラづくりに興味がある。

➡ 地図に残るような大きな仕事がしたい。

➡ インフラの整備や維持管理を通じて地元や北海道をよくしたい。

市民生活をハード面でも支えたい！



アドミッション・ポリシーを分かりやすく(3)

【環境情報コース】

- 市民の生活を支える社会や都市の仕組みに関心があり，市民の安全，福祉などの政策決定や情報化に興味を持ち，これらの分野で社会貢献を目指す人。

➡ 安全・安心な水インフラに興味がある。

➡ AI・データサイエンスを通じて暮らしやすい社会づくりがしたい。

➡ インフラの整備や維持管理を通じて環境保全に取り組みたい。

市民生活をソフト面でも支えたい！



総合型選抜のポイント：教育内容との関係性から

自然と人とをつなぐ**インターフェース** → **インフラ**に関わる分野



キーワード:

公共性 / 持続性 / 安全性

1次選考

- 学修計画書
- 事前提出小論文
- 調査書（参考）

2次選考

- 講義型試験
- 口頭試問

1次選考のポイント

I. 学修計画書

- 将来目指す職業とそのために
本学科で学修したいこと
→ 学びへの意欲

II. 事前提出小論文

- 以下のキーワードを含むニュースについて
 - ① 社会インフラストラクチャー
 - ② 自然災害（震災や水害など）
 - ③ 自然共生（環境問題など）



→ アドミッション・ポリシー（AP）の理解を確認します

III. 調査書

- 高校生活での頑張りをI, IIと照らし合わせる参考資料



1次選考のポイント：補足

I. 学修計画書

- 将来目指す職業とそのために
本学科で学修したいこと
→ 学びへの意欲

II. 事前提出小論文

- 以下のキーワードを含むニュース（例）
 - ① 社会インフラストラクチャー
→ 道路陥没事故（埼玉県八潮市）
 - ③ 自然共生（環境問題など）
→ 釧路湿原の太陽光発電建設



I. 作成のために

- カリキュラム・ポリシーを見る → 学科の学習・教育到達目標
 - I. 技術者の人間形成に資する幅広い教養、倫理観、コミュニケーション能力
 - II. 専門技術者として要求される基礎能力
 - III. 自然環境ならびに地域特性を考慮した社会の要求に応える能力

2次選考のポイント

I. 講義型試験

- 講義を受講 (30分)
- 講義内容に関する内容の筆記試験 (60分)

- 講義内容の理解
- 要点のメモ
- 講義資料の利活用



→ 学修内容を適切にアウトプットできるかを確認します

II. 口頭試問

- 学修計画書/事前提出小論文/講義型試験に関する内容

→ 本学科での学びに対する適性を総合的に確認します

総合型選抜のメリット

- 選抜方法の中で最も早期に合格が発表される。

➡ 11/1が2次選考，11月中に合格発表



- 出願資格として一定水準の成績が要求されない。

➡ ペーパーテストに苦手意識があっても，アドミッション・ポリシーへの共感と学びへの意欲がある学生が対象